

2018

3

— March —

中 小 企 業

力を合わせて
ともに成長し、
広島をもっと元気に。

ひろしま

No.734

広島県中小企業団体中央会

平成30年3月10日発行(毎月10日発行)

INDEX

巻頭特集/組合紹介 1~2

環境負荷の少ない省エネ商材で
自ら仕事を創り出す
～脱・下請けを推進～
協同組合環境改善推進センター

中央会 Watch! 3~4

物流業の生産性向上
～学びあいによる主体的な改善・改革を目指して～

中央会ニュース 5~6

中小企業の実産性向上を目指し、IoT導入研究会を発足
組合・中小企業も積極的なSNS活用を!

青年中央会ニュース 6

「組合青年部県大会」「尺八奏者」で経営者～海外に届け、日本文化～

事務局代表者ニュース 7

平成30年通常総会・講習会を開催

組合ニュース 7

創立50周年記念式典・祝賀会を開催
広島県東部広告美術協同組合

全国の先進組合事例 9

北山村じゃばら生産協同組合

ものづくり企業紹介 11~12

通電焼結技術を極める ～自社製品で顧客の技術力向上～
エス・エス・アロイ株式会社

1月景況レポート 13~14

中央会トピックス 15~16

平成29年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」公募のお知らせ
組合年度末事務処理について



頭巻 特集

組

紹介

協同組合環境改善推進センター

環境負荷の少ない省エネ 商材で自ら仕事を創り出す ～脱・下請けを推進～

理事長

小田 一美 氏



協同組合設立までの 経緯と業界の課題

平成15年12月、環境負荷の少ない省エネ商材の活用によって組合員が『自律型経営へと事業転換すること』を目的に、中国地方の内装事業者が中心となって設立しました。建築業界においてはゼネコンや有力工務店が元請けとして施主から依頼を受け、様々な専門業者が下請けとして各工程を施工しています。中小の下請け業者は、元請けからの仕事量で自身の施工高が左右されるとともに、施工品質や工期で差別化するこ

とが難しいため、価格競争が蔓延する状況になっており、経営的に非常に不安定であったことが背景としてあります。私自身、50年以上にわたって建設業界に携わってきましたが、自律型経営へと転換するためには、営業・施工を含めた一体的な管理体制の構築と、価格競争に巻き込まれない新技術を持つことが必要だと感じていました。

協同組合の設立に向け一歩を踏み出すこととなった大きなきっかけは、ユニークで革新的な開発・研究者との出会いでした。この出会いによって、当組合の登録商標「液体カーテン

ES]が誕生しました。「液体カーテンES]は、窓ガラスに薬剤をコーティング施工することで近赤外線・紫外線をカットし、日焼けによる褪色や劣化を防ぐとともに高い遮熱効果が得られるオンリーワン商材です。

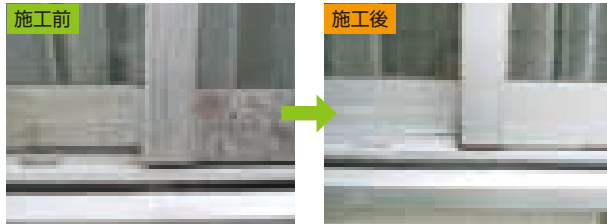
省エネ商材と組合 オリジナル技術

「液体カーテンES]が環境に貢献するエコロジカル技術の所以は耐久性の向上と廃棄物の減少にあります。既存の窓ガラスなどに遮熱・紫外線カットなどの機能を付加する場合、従来の工法では、ガラスに遮熱フィルムを施工することが一般的でしたが7～10年で劣化し、廃棄する際には廃棄物を増やすなどの課題がありました。「液体カーテンES]は耐久性が約50%向上(第三者機関で実証済み)するとともに、微少な廃棄物しか生じないなど、作業性も良く、環境負荷の低減にもなります。

一方で、既定通りの施工ができなければ本来の効果を発揮できない課題があります。現場ごとに異なる作業環境の中で、均一な膜厚、塗リムラ防止など施工品質を確保する効率的で簡便な施工方法を確立する必要がありました。前処理の方法、施工用具・洗浄剤の選定、希釈率の試験など、クリアしなければならない課題が多くありましたが、新技術として確立するために特別委員会を設置す

●アルミサッシ復元工法

バイオレメディエーション技術を応用した「バイオクリネス洗浄剤」と「バイオタフAP(色彩復元コーティング剤)」のコアを活用し現場施工技術を組み合わせることで復元可能。



経年劣化によるチョーキング(退色)したアルミサッシと復元後

●バイオクリネス洗浄工法

微生物が増殖する過程で生じる4つの分解酵素が石けん水との混合によって徐々に効果を発揮し、バイオフィルムや低級脂肪酸を分解消滅させ、臭いや汚れを落とす。特に細菌の繁殖によって不純物が蓄積したインターロッキングブロックなどの汚れなどには有効。

厚生労働省登録検査機関である(一社)東京都食品衛生協会東京食品技術研究所において、毒性、皮膚、目粘膜の安全性試験の結果、異状なしの成績を得ており、作業者に負担を与えない。



るなど、組合員が一丸となって取り組み、標準作業マニュアルを策定しました。併せて検査基準を設け、より確かな施工ができる体制を構築しました。現在では施工実績を重ねたことで品質も安定し、安心してご提案できるようになりました。

以降アルミサッシの復元、インターロッキングブロックなどの洗浄についても、工法を確立し、現在は3つの組合オリジナル技術を展開しています。

組合向け補助事業などの積極的な活用

定期的な技術研修会を実施し、修了した組合員が各地域で販路を開拓しています。組合員の営業展開を側面的にサポートするため、組合の本部がある福山市において先行的にモデルケースとなる施工実績を重ね、これらの成果を組合員にフィードバックすることでノウハウの共有を図っています。また、他県で脱・下請けを目指す同業者や建設関連業者などに広くPRし、組合の活動を全国に広げていくた

め全国中央会の組合向け補助金、通路開拓事業を活用して、環境ビジネス展である「びわ湖環境ビジネスメッセ」に出展するなど、マーケティング、環境商材・技術としての認知度向上とブランド化を推進しています。

脱・下請けに向けた今後の取り組みと課題

当組合の組合員は中小零細事業者ばかりで、競争力のある商材を探したり、施工技術の習得、マーケティング、ノウハウの蓄積などは、自力でとてもできることはありません。故になかなか脱・下請けが進まないのです。

この役割を組合が担うことによって、組合員の負担が大幅に軽減されると共に、組合が確立したノウハウや検査体制によって自信を持って営業・受注・施工ができるようになりました。やっと価格競争に巻き込まれない独自の商品・サービスを展開していく体制が整ったのです。

一方で、一番の課題は「困っている方にこれらの技術を如何に知っても

らうか」であると思っています。これまでに施工させていただいた殆どのお客様は、困っていても、コストの問題や技術的な課題のために諦めるか、新品に交換するしかない、と諦めていた、と言われる。このような潜在的なニーズを掘り起こし、広く知ってもらうための活動を今後、強化していきたいと思っています。

第一弾として、現在、組合のホームページをリニューアル中です。豊富な施工実績や組合の管理・検査体制、施主様の声などを掲載し、安心してお問い合わせいただけるような構成を考えています。

今後も、≪できない仕事から出来る仕事に≫して世の中の人に喜んでもらえるよう、環境にやさしい新技術・新商品の提供を続けていきたいと思っています。

協同組合 環境改善推進センター

福山市沖野上町二丁目13-3
TEL：084-920-9969
FAX：084-920-9968
<http://ecoct.com/>



File
No.2

物流業の生産

～学びあいによる主体的な改



県内総生産の約7割を占めるにもかかわらず、従業員1人当たりの付加価値額が製造業に比べて大幅に低いとされるサービス産業。その生産性向上を目的に、広島県商工労働局イノベーション推進チームがサービス産業の生産性向上に取り組んでいる。

今回の中央会Watch!は、当中央会が会員組合を通じて個別の候補企業に声かけを行い、企業側と行政側の中間的立場からプロジェクトに学ぶとともに、進展を側面支援した『物流業の生産性向上』への取り組みについて紹介したい。このワークショップでは、経営資源の乏しい中小・小規模事業者が複数で協同し、課題解決を目指した。

◆競争と協同による「学び合い」

広島市西部地区に倉庫を持つ物流事業者6社。取扱う荷物等は異なるが、商工センターで事業を営む競争関係にある同業者である。

ワークショップは、参加者が主体性を発揮して、自ら課題を設定し解決していくことを目的に、月1回、2日間のペースで計3回、延べ6日間実施。自社の生産性向上と同時に、地域の卸・運送業の生産性を底上げし、お互いが成長することを目指した(株)イトー、(株)ワカバ、新生倉庫運輸(株)、田中倉庫運輸(株)、広島運輸(株)、(株)脇地運送の6社協同による改善活動及びその成果の一部を紹介したい。

改善の視点 人材力

①人材育成で生産性向上 A社

「マルチ要員の育成で労働時間の短縮と顧客対応の改善」

改善前 各従業員が業務内容をどこまで理解し動けるのかわかっておらず、応援の必要な作業へ人員を配置

することができていなかった。

取組内容 スキルマップを作成し、各人毎に、どんな作業が弱いか又は強いかを把握。(スキルマップは、各人毎のスキルアップ項目を明確にできるため、今後は、これを活用し人材育成に取り組む。)

取組のポイント スキルマップを荷主ごとに細分化し作成した。

改善の効果 作業が集中した時の応援がスムーズに行えるようになり、新入社員やパート従業員の業務の幅が広がった。さらに、今回のワークショップの参加が契機となり、従業員から改善案が出されるなど、現場改善意識が芽生えてきた。

改善の視点 組織力

①シフト改善で生産性向上 B社

「日々の出荷量に連動した適切な人員配置」

改善前 作業者の状況、物量の情報等の共有化ができておらず、応援体制の仕組み等ができていなかった。その結果、出荷作業の遅れが発生していた。

取組内容 物量推移表を作成し、物量及び人員配置の見える化を図った。加えて、12月からインカムを導入し、情報伝達のスピード化を図った。

取組のポイント 物量が見える化することで、日々の仕事量が把握できるようになり、休暇等の計画が立てやすく、スムーズな応援体制づくりと適切な人員配置が可能となった。

改善の効果 各自の作業状況を共有し、人の配置を最適化することで、作業時間の削減(11月時点で15分/人・日)に繋がった。副次効果として、作業者同士が各自の作業内容を気にかけるようになった。

②作業改善・標準化で生産性向上 C社

「働きやすい環境作りによる作業の生産性向上」

改善前 梱包用の空箱の置き場が決まっていない。また、リフト通路を設けていなかったり、使わないローラーが人の導線を妨げているなど、作業効率の悪化を招いていた。

取組内容 梱包用の空箱の置き場を決め、リフト通路を確保し、ローラーを撤去することで、作業効率が向上した。

取組のポイント このワークショップで他社の現場を見学できたことが、大きな成果(参考)に繋がった。

改善の効果 5月と6月の比較で、1日当たりの作業

性向上

善・改革を目指して～

このコーナーでは、当中央会が注目した特徴ある取り組みや成功への隠れたプロセスを取材し、ご紹介いたします。会員の皆様の今後の活動のヒントとなり、新たな可能性が生まれることを期待しています。

時間が2時間45分短縮した。

改善の視点 技術力

①作業改善・標準化で生産性向上 D社

「ヤードの仮置き時間の短縮による作業効率向上」

改善前 積込車両の入構予定時刻が把握されておらず、仮置きでヤードに商品が溢れ、限られたスペースでの作業となり作業効率が悪かった。また、事故発生のリスクが高く物流品質の低下を招く恐れがあった。

取組内容 積込車両の入構予定時刻を把握し、一覧表で見える化して、積込車両の入構と出荷準備のタイミングを合致させるとともに、入出庫レーンの取り決め、入庫レーンの歯止め表示を行った。

取組のポイント 倉庫現場・配車担当者・事務担当者と検討を重ね、会社の総意として進めた。

改善の効果 ヤード仮置き時間が減少し、作業効率・物流品質・安全性の向上に効果があった。

◆自社での実践を可能にするインターバルと半年後のフォローアップ

次回ワークショップまで1ヶ月のインターバルの期間を設け、それぞれ各社に戻り改善を実践し、次回のワークショップで発表するなど、成果を出すための実践期間とモチベーションの維持を可能とする、『間合い』を大切にした。

指導講師である公益財団法人日本生産性本部の高田晴弘氏は、参加者が自ら気づき、実践するという主体的な態度を重視することで、自発的な改善の継続にこだわった。参加者自らが自社の課題を自覚し、それに対し改善計画を立て、実践し検証・改善につなげるPDCAを回すことで、具体的な行動変容が見られた。

さらに、半年後に効果を確認するためのフォローアップを実施。改善を常態とする現場意識の変化、現状のデータ収集・分析が新たな改善への気づきを生んでいる等、継続した効果を確認できた。各社においてPDCAを回す土壌が醸成しつつある。

◆自立化及び今後の他企業、他業種展開に向けて～中央会の役割～

装置産業のように、設備を整えれば一定の生産性向上の成果が期待できる業種とは異なり、卸・運送業においては、人や組織に係る改善が生産性向上に及ぼす影響が大きい。

各社がこのワークショップへ参加したきっかけは、「他社とのつながり」や「他社から刺激を得ること」であった。同業他社の事例を参考に自社の課題を発見し、即実践するという今回の取り組みでは、全ての参加企業を参加者全員で訪問しあうことが『肝』であった。

最初はそのことに抵抗があったかもしれない。しかし、実際の参加企業は皆、自社の倉庫を他社が見学し、改善提案をしてもらうこと、他社の倉庫を見学できるメリットを強調した。

今年度のワークショップは終了するが、当会としては今後、やる気のある中小・小規模事業者がグループをつくり、生産性向上に取り組むなど、複数企業で主体的に取り組める環境づくりに貢献していきたい。さらに、生産性向上を組合事業として扱えるよう、組合が果たすことのできる役割についても検討を重ねる。

来年度は、広島県東部地区において同様のワークショップを実施予定であり、今後も改善の好循環を他企業、他組合、さらには他業種へと拡大を目指したい。

ポイント

①競争と協同の好循環

競争関係にある同業者間で、学習機会やコンテンツを提供しあい、お互いが生産性向上を実現

②主体性を重視

参加者が自ら気づき実践するという主体的な態度を重視し、その後の自立化を目指す

③企業風土の変革

参加者が自社に持ち帰り、全社に改善への意識改革を実現

④他業種の好事例を取り入れる柔軟性

製造業での改善事例を取り入れる

〔取材者：情報調査部 原田和枝〕

中央会 NEWS

中小企業の生産性向上を目指し、IoT導入研究会を発足



研究会会場の様子

広島県中央会では、平成30年1月広島県内の中小企業者がIoTを導入する際に必要な知識の習得、

情報交換や企業間連携等を目的にIoTに関する理解の深化、実装のための活動を行うIoT導入研究会を発足させた。

今年度の活動としては、IoTの導入に興味を持つが、どこから取り組んで良いのか分からないと悩む企業20社を対象に、3回シリーズの勉強会(1月31日、2月14日、2月27日

各5時間)を開催。講師には、種子島宇宙センターでロケット射点設備の計装やシステム開発、メンテナンスに携わり、膨大な情報の扱いにノウハウを有する株式会社uncodeの丸田氏を迎え、これからIoTに取り組む人が必要とする基礎知識全般についての分かりやすい解説と実習を行った。



株式会社uncode 丸田代表取締役

※ 勉強会のテキストを広島県中央会のホームページで随時公開する予定。

第1回目 「今なぜIoTなのか」

- ・IoTの基礎、構成要素、導入の進め方について。
- ・ものづくり企業等のIoT導入事例の紹介、ポイントは課題在りきで導入すべき。
- ・グループディスカッション

参加者全員でSWOT分析を行い、その内容を共有後、各グループから結果を発表。多業種の参加者がディスカッションすることにより、IoT活用の可能性について「気づき」ができた。

第2回目 「人材不足をIoTで解消」

- ・前回よりも一歩踏み込んだIoT導入の事例紹介

- 例1 温度・電力をリアルタイムに「見える化」する事例
- 例2 AIを活用したシンプルな在庫管理システムの導入により、作業精度の向上・コスト削減が可能となった事例

・グループディスカッション

前回の課題「自社の課題から、IoT化が可能な作業の抽出」について、飲食業、運輸業、機械販売業、機械加工業、印刷業など業種別に分けた回答を整理、IT化やIoT化への可能性や問題点について検討。

・人材不足解消のため、IoT化できる作業の洗い出し

機械部品、パン製造、飲食店の作業工程の3つを例として講師が工程分析した後、参加者それぞれが自社の工程分析を行い、費用対効果を含めてIT化やIoT化について検討した。

第3回目 「導入例、取り組み」

- ・前回の工程分析から実際にIoT化する際のセンシング機器や活用方法を紹介。
- ・これまで質疑が有ったIoT導入事例として、製造業や飲食業の事例を紹介。
- ・グループディスカッション
各企業で可視化が可能な情報などについて話し合った。

IoT導入研究会では、より多くの中小企業者が実際にIoTを導入し、生産性の向上を実現することを目的に、今後もIoT導入に必要な支援を積極的に展開することとしており、中央会ホームページで広く参加者を募集している。



グループで分析・ディスカッションを実施

中央会 NEWS

組合・中小企業も積極的なSNS活用を！ 組合情報化支援講習会

広島県中央会は2月5日、「組合情報化支援講習会」を開催し、組合役職員や組合員企業の代表者等49名が出席された。

当日は株式会社スプラムで代表取締役を務め、中小企業診断士でもある竹内幸次氏より「中小企業・組合が行う戦略的SNS活用法」をテーマに、SNSの基礎知識やSNSが組合・企業にもたらす効果やメリット、効果的なSNS活用方法や成果に繋がっている取組事例について講演が行われた。



中小企業診断士 竹内幸次氏

講演の中で、竹内氏は「生産性の高い組合、中小企業は設備投資、IT投資に積極的である。ITは組合等の未来のための投資であり、戦略ビジョンに大きく関係してくる。若い人材だけに頼るのではなく、トップが理解しないと意味がない。SNSを活用して自分にしかない情報を発信して欲しい」と語られた。

当講習会は、組合・中小企業等に対する情報化への取組支援を目的としており、当会としては今後も情報化に関する講習会を開催し、組合や企業が積極的にITを活用し、ビジネスチャンスを得られるよう、今後も積極的な支援を行っていく。

青中 NEWS

“尺八奏者”で”経営者”～海外に届け、日本文化～ 組合青年部県大会



田口会長挨拶

経営者として広告業を営む傍ら、外務省や国際交流基金の要請で日本文化を広めている尺八奏者、株式会社ウラベサインボード占部三龍代表取締役を講師に迎え、2月15日、

組合青年部県大会を開催した。

占部氏は、世界の人々の生活をより豊かにするため、多くの国を回っている。講演では、「日本の文化は外国人の方が意外と詳しいことがある。国籍の異なる者同士が本質的に理解し合い、対等な関係を築くためには、お互いの文化を理解し認め合うことが大切だ。今後も日本と海外の架け橋になるように日本文化を海外に伝えていきたい。」と語られた。

講演会や懇親会では、時折、尺八の演奏も交え、また、箏奏

者の岡田明子氏も演奏に加わり、感情の起伏や微妙なニュアンスを音楽で表現されていた。また、尺八や箏の演奏を体験する場面もあり、参加者は日本の文化に触れる良い機会にもなった。

企業でも外国人採用が積極的に進められている。文化や考え方の異なる者がともに働き、多様な知識、経験、価値観に触れることで新たな発想や気づきにつながり、ひいては企業の新たな成長へつながる可能性が大きいと言われており、多様性は強みにできるのではないだろうか。



箏奏者 岡田明子氏 尺八奏者 占部三龍氏

事務局代表者NEWS

平成30年通常総会・講習会を開催

広島県中小企業団体事務局代表者協議会は、2月16日、ホテルセンチュリー21広島において20名の出席により平成30年通常総会を開催した。平成29年度の事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・収支予算等、提出議案を原案通り可決したほか、任期に伴う役員の変更を行い、幹事17名、監査2名が選出された。また、幹事会を開催し、会長として広島県中小企業共済協同組合の堀岡常務理事が、副会長として協同組合福山金属工業センター 中司事務局長、協同組合三菱広島協力会の部村専務理事の2名が選出された。堀岡新会長は、「この協議会がより有意義な集まりとなり、活性化していくよう努めて参りたい」と就任の挨拶を述べた。総会終了後、講習会を開催。中国生産性本部専任部長 西川

三佐子 氏を講師に、「仕事の効率化と人材育成」をテーマに講演。講演では、「組織の目的は理念を実現すること



平成30年通常総会の様子

で、一人一人の仕事は理念の実現に繋がらなければならない。お客様にどのような価値を提供するかによって仕事のあり方は変わり、仕事の効率化によりその価値を高めることができる。上司と部下の間には信頼と尊敬が必要で、上司が部下に仕事のやり方を示し、その成果を認めることが部下の成長に繋がる。」と説明された。講習会終了後は懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中、閉会となった。

組合NEWS

創立50周年記念式典・祝賀会を開催

広島県東部広告美術協同組合

広島県東部広告美術協同組合（理事長 東恭弘）は、2月17日、福山ニューキャッスルホテルにおいて創立50周年記念式典及び記念祝賀会を開催した。

当日は広島県広告美術協同組合連合会坂本会長を始め多くの来賓を迎え、盛大に開催された。後藤道幸前理事長より



式典出席者による記念撮影

「昭和42年、県東部地区の屋外看板業者17名で組合を設立、組合事業を通じ組合員の経営の安定化や県東部地区の屋外広告業界の発展を目指して活動し、今日を迎えることができた。大変厳しい時もあったが歴代の理事長を始め諸先輩の尽力や取引先の協力なしに現在はない。我々屋外看板業者は設置看板の安全性の確保や老朽化への対応など多くの課題が山積しているが、組合員が団結してこの状況を乗り越え、次のステージに向かって行きたい」との挨拶があった。

また、東新理事長からの「新たなステージに向かって組合員団結し頑張っていこう」という宣言のもと、出席者らは更なる発展を誓い合った。

半世紀で加入企業 **100万社** 以上の実績！

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

国の制度だから

安心

国から掛金の助成を受けられます

社外積立だから

簡単

従業員ごとの納付状況や退職金試算額をお知らせします

掛金は全額非課税だから

有利

節税に加え、手数料もかかりません



加入範囲、
広がっています！



事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、一定の要件を満たしていれば加入できます。

詳しくは ▶

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

ちゅうたいきょう
略称：中退共






〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL 03-6907-1234 FAX 03-5955-8211
<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

広島県中小企業団体中央会団体扱 「オーナーズプラン」のご案内



Owner's Plan



-  事業保全資金
-  事業承継・相続
-  就業不能
-  役員の退職慰労金・弔慰金
-  従業員の退職金・弔慰金

限りない繁栄のために…

リスクマネジメントは万全ですか？

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

広島支社 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル3F TEL:082-262-0250

福山支社 〒720-0043 広島県福山市船町7-25 ケイエースビル7F TEL:084-928-3388

B-2017-5003 (2017.4)
使用期限 2018.3.31

※一部対象とならない商品・契約がございますので、
詳細は下記までお問い合わせください。

CHECK!

全国の 先進組合事例

北山村じゃばら生産協同組合

～地域活性化・地域社会への貢献～

じゃばらブランドを 確立し、村(地域)の 経済を守り抜く

■背景・目的

当初、販売に大変苦労したじゃばらが『花粉症に効く』と評判となったことで爆発的に売上が伸び、村民の経済を支える重要な事業に成長していく過程で、「じゃばら振興会」を母体として協同組合を設立した。今後は組合事業を通じて、じゃばらブランドを守り抜いていく。

■事業・活動の内容と手法

事業の推進は、常に北山村と二人三脚で協調して進めてきた。村役場の担当者、関係者が組合の役員、組合員と随時会議を開いて協議し、情報を共有しながら組合事業が運営されてきた。組合で生産されたじゃばらは北山村に買い取ってもらい、北山村を通じて商品化され、販売されている。村が一括して販売、物流、営業の管理を担ってくれているため、組合員も安心してじゃばら栽培に勤しむことがで



じゃばら栽培



じゃばらを使って開発した商品

きている。

■成果

当初、まったく売れなかった時期は、村の存亡を賭けた事業ただけに停滞感が漂っていたが、平成13年1月出店の楽天市場で爆発的なヒットをきっかけとして、早急な生産体制増強とともに、じゃばらにまつわる権利取得によって他の生産者との差別化を図っていく必要性に迫られた。こうした変化にもスムーズに対応できたのは、組合員である村民の一体感と、村による十分なバックアップ体制の賜物であると言える。

- 住所 〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大字大沼87番地
- TEL 0735-49-2253
- 設立 平成25年1月
- 出資金 105千円
- 主な業種 果樹耕作農業
- 組合員 21人

「平成28年度 組合資料収集加工事業報告書 先進組合事例抄録」より



Shinkumi Bank
信用組合
しんくみ

ちかくにいるから、
チカラになれる。

信用組合は、中小企業や小規模事業者、地域・業域・職域の生活者である組合員に対して、
決め細やかな訪問活動と、人の温もりを大切にした親身な相談活動を通して、
どんな時も、組合員と共に歩み続ける、身近な金融機関であることを約束します。

広島市信用組合

☎(082)248-1171
広島市中区袋町三番十七号

広島県信用組合

☎(082)249-1111
広島市中区富士見町一番十七号

信用組合広島商銀

☎(082)244-3152
広島市中区西平塚町四番十二号

呉市職員信用組合

☎(082)253-4006
呉市役所本庁舎八階
呉市中央四丁目一番六号

両備信用組合

☎(0847)452-2218
府中市元町四六二番地の十

備後信用組合

☎(0849)226-556
福山市野上町三丁目二番三号

広島県信用組合協会

☎(082)247-7363
広島市中区宝町九番十一号

*信用組合は平成29年10月に新しいコミュニケーションマークを制定しました。

無料の経営診断サービスのご案内

「中小企業経営診断システム (MSS)」

を利用した簡易な経営診断サービスを**無料**で
実施しています。

主な診断内容

- ✓ 同業種内順位を算定
- ✓ 財務内容を10段階で評価
- ✓ 財務バランスチェック など


「広島県信用保証協会 MSS」で検索！

広島県信用保証協会 MSS

検索

<http://www.hiroshima-shinpo.or.jp>



	広島県信用保証協会	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">本 所</td> <td style="width: 33%;">〒730-8691 広島市中区上幟町3番27号</td> <td style="width: 33%;">☎(082)228-5501</td> </tr> <tr> <td>三原支所</td> <td>〒723-0014 三原市城町3丁目1番1号(三原港湾ビル3階)</td> <td>☎(0848)63-4173</td> </tr> <tr> <td>呉 支 所</td> <td>〒737-0045 呉市本通4丁目7番1号(呉商工会議所ビル4階)</td> <td>☎(0823)21-9281</td> </tr> <tr> <td>福山支所</td> <td>〒720-0065 福山市東桜町1番21号(エストパルク7階)</td> <td>☎(084)923-4893</td> </tr> <tr> <td>備北支所</td> <td>〒728-0021 三次市三次町1843番地の1(三次商工会議所ビル1階)</td> <td>☎(0824)62-3917</td> </tr> </table>	本 所	〒730-8691 広島市中区上幟町3番27号	☎(082)228-5501	三原支所	〒723-0014 三原市城町3丁目1番1号(三原港湾ビル3階)	☎(0848)63-4173	呉 支 所	〒737-0045 呉市本通4丁目7番1号(呉商工会議所ビル4階)	☎(0823)21-9281	福山支所	〒720-0065 福山市東桜町1番21号(エストパルク7階)	☎(084)923-4893	備北支所	〒728-0021 三次市三次町1843番地の1(三次商工会議所ビル1階)	☎(0824)62-3917
本 所	〒730-8691 広島市中区上幟町3番27号	☎(082)228-5501															
三原支所	〒723-0014 三原市城町3丁目1番1号(三原港湾ビル3階)	☎(0848)63-4173															
呉 支 所	〒737-0045 呉市本通4丁目7番1号(呉商工会議所ビル4階)	☎(0823)21-9281															
福山支所	〒720-0065 福山市東桜町1番21号(エストパルク7階)	☎(084)923-4893															
備北支所	〒728-0021 三次市三次町1843番地の1(三次商工会議所ビル1階)	☎(0824)62-3917															

ものづくり **企業紹介**

エス・エス・アロイ株式会社

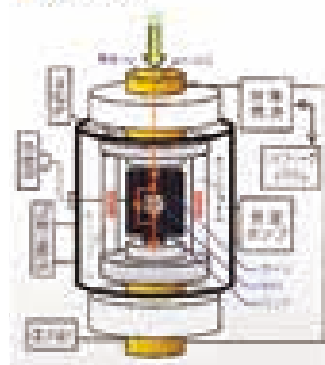
“通電焼結技術を極める
～自社製品で顧客の技術力
向上～”

代表取締役

菊池 光太郎 氏



■製造イメージ



現在は、一般的な通電焼結法に弊社独自の画期的な特許技術を使用した通電熱加工装置「PLASMAN(プラズマン)」を中心に、研究室レベルから量産レベルまでの通電焼結設備の開発・販売を行っています。

広島大学研究プロジェクトへの参加 ～新たな出会い～

設立当初から通商産業省(現 経済産業省)の補助金を受けたり、色々な研究プロジェクトに参加したりして技術を高めて行きましたが、大きなきっかけは東広島市へ移転したことによります。平成12年に私が会社を引き継ぎ、新たな展開を模索する中で、平成13年に東広島市の広島テクノプラザへ移転しました。広島テクノプラザは広島大学が近く、また国の研究機関である独立行政法人産業技術総合研究所(産総研)などの公的研究機関や研究施設なども多く集積し、研究開発に最適な立地です。

平成に入ってから通電技術が注目されるようになったこともあり、広

創業のきっかけ ～通電焼結技術に着眼～

当社は、私の父である初代社長の菊池昭夫が、直接通電熱加工の実用化を目指して平成2年に設立しました。

父は、以前在籍していた日立粉末冶金(株)(現 日立化成(株))で昭和60年に通電焼結技術と出会い、その可能性に着眼、昭和61年より装置製作を開始して昭和63年に1号機を試作、さらに適合材料に関する研究を重ね、会社設立に至ったのです。

通電焼結技術とは、金属などの粉末

素材に通電による加熱とプレスでの加圧を同時に行い成型加工する冶金工法のひとつですが、当時はコンピュータが発達し始めた時期で、それまで困難だった加熱・加圧の制御が可能となったことで開発に取り組んだようです。

しかし、創業当初は経営基盤が整っていないこともあり、また、補助金を活用するにしても自己資金が必要となるため、自動車部品や建築金物の溶接、プレスなど現在の事業とは全く異なる下請仕事を受注し、徐々に通電焼結の研究開発を進めていきました。

- 当会が地域事務局を担っているものづくり補助金に採択された会員組合員企業の
- 経営トップの経営方針や未来への想いなどを紹介しております。
- 当コーナーが企業間連携や異業種交流へと繋がることを期待します。

島大学でも研究開発のプロジェクトが開始されていました。当社も大手産業メーカーや有力企業に交じってもプロジェクトの一員として装置の研究開発へ参加することができ、そこでの経験や出会いから当社にとっての転機が訪れたのです。

お客様ニーズに対応 ～行政支援をフル活用～

通電焼結研究会の講演が広島県立西部工業技術センターで開催された際、産総研中部センターの研究者と話をする機会を得られ、「試しに装置を使ってみよう」ということになりました。そして、製品を納入した先の研究所で、当社技術の成長発展を支えた研究グループリーダーと出会うきっかけを得られました。

当時は当社製品も出来上がったばかりで、私達自身もまだまだ改善の余地があると感じておりました。しかし、それを大きく上回る情熱と、次から次にいただく製品への改善要



望を受けて、試行錯誤を繰り返し、とにかく必死に食らいついていくことで、飛躍的に製品改良が進みました。困難な状況でもこの技術を向上するためには引かない、「通電焼結技術を極める」と言う気持ちは、当社が創業から培ってきたものです。

さらに、並行して、学会や論文を通じて大学教授の研究内容と当社製品の情報が拡散したことで、新たなプロジェクトの話も舞い込むようになるなど、人と人のつながりが連鎖した事も開発に成功した要因だと思います。

これからのエス・エス・アロイ ～通電焼結技術を極めるために～

通電焼結技術が着目され25年経経過し、同業他社は世界で12社、国内でも6社と増えてきましたが、一般の人々にはほとんど知られていないのが実情です。今後は通電焼結技

術の認知度を高め、何十年か後には一般的な技術とすることが目標ですが、現状は展示会へ出展するのも人手も資金も足りない状態で、企業としての基礎体力を強化していくことが喫緊の課題と認識しています。

また、日本の製造業の競争力を高めるためにも、研究開発に力を入れている国内企業への製品納入を強化するとともに、内燃機関から電気へと変わる自動車分野において、レアアースやレアメタルなどを代替する、通電焼結技術ならではの複合素材による新素材開発に注力し、新たな業界へ参入していきたいと思えます。

エス・エス・アロイ株式会社

東広島市鏡山3-13-26
テクノプラザ180号室
TEL : 082-420-0512
<http://www.plasman.co.jp/>

1月

景況 REPORT

— 情報連絡員報告から —

☀️ 増加・上昇・好転

☁️ 変らず

☔️ 減少・下落・悪化

製造業

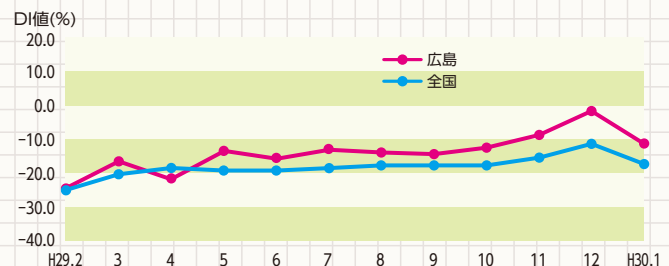
業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
食料品		☔️	☁️	☔️	☁️
繊維・同製品		☔️	☁️	☁️	☁️
木材・木製品		☔️	☔️	☁️	☔️
印刷		☁️	☁️	☁️	☁️
化学・ゴム		☁️	☁️	☀️	☁️
窯業・土石製品		☔️	☔️	☔️	☔️
鉄鋼・金属製品		☔️	☁️	☁️	☔️
一般機器		☀️	☀️	☀️	☀️
電気機器		☁️	☁️	☁️	☁️
輸送用機器 (自動車・造船)		☔️	☀️	☀️	☁️
その他 (家具・装備品)		☔️	☁️	☔️	☔️

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

非製造業

業種	動向項目	前月比		前年同月比	
		売上高	業界の景況	売上高	業界の景況
卸売業		☔️	☔️	☁️	☔️
小売業		☔️	☔️	☀️	☔️
商店街		☔️	☁️	☀️	☁️
サービス業 (自動車整備・広告・警備・情報サービス)		☔️	☁️	☔️	☁️
建設業 (工事業)		☔️	☔️	☁️	☁️
運輸業		☁️	☁️	☀️	☔️
その他 (不動産業)		☔️	☁️	☁️	☁️

景況DI値の推移 (前年同月比)



情報連絡員からのコメント紹介

製造業

食料品

●1月の出荷量は前月比27.5%減少、前年同月比2.8%減少、売上高は前月比24.9%減少、前年同月比4.5%減少となった。

繊維・同製品 (繊維工業)

●来春夏物の生産がスタートした。

木材・木製品

●原材料の値上がりにより収益が悪化している。先行きが不透明である。

＜全国＞

- ・平成29年12月の全国の住宅着工戸数は76,751戸で前年同月比2.1%減少
- ・季節調整済年率換算値では93.6万戸(前月比2.7%増)
- ・利用関係別では、持家は23,288戸で前年同月比2.5%減少、貸家は33,438戸で前年同月比3.0%減少、分譲住宅は19,537戸で前年同月比1.3%減少
- ・木造住宅の着工数は45,452戸で前年同月比1.1%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で6か月連続の減少

＜広島＞

- ・広島県内の12月の着工戸数は1,957戸で前年比25.4%増加、このうち持家は452戸で前年比5.0%減少、貸家は1,157戸で前年比56.6%増加、分譲は348戸で前年比0.9%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で4か月連続の増加となったが、繁忙が続いたプレカットも一服感がある
- ・地域別では広島市が着工戸数1,120戸で39.1%増加、福山市が291戸で11.5%増加、尾道市は61戸で177.3%増加となった一方で、東広島市は150戸で1.3%減少、呉市は59戸で4.8%減少、廿日市市は54戸で48.6%減少と地域ごとにばらつきがある結果となった

・全国傾向とは異なり広島県内の住宅着工戸数は依然高水準で推移しているが、将来、減少が予想され先行き不安の声も強い。非住宅分野への期待は高まっている。

印刷 (出版・印刷・同関連)

●景況に変化はない。

化学・ゴム (工業用ゴム製品)

●国内自動車生産、販売共に下期は前年比増加。特に軽自動車、SUV車が増えつつある。それに伴い仕事量は対前年比5~7%増加する見通しである。

人手不足が深刻であるため募集をするが、応募がほとんどない。残業の増加に加え、原材料の値上がりなど収益状況は好転しない。労働力人口の不足は経済成長の大きな足かせとなっているため、外国人労働者等の規制緩和が急がれる。

将来、自動車の電動化が進むと部品点数の減少により、雇用等に大きな影響が生じると予測される。春闘においては、特に中小企業では人手不足により人件費が高騰し、厳しい状況にあると思われる。

化学・ゴム (プラスチック製品製造業)

●売上は、全体的に各社良い状態で横ばい傾向である。しかし、収益状況は良くない。

原油市況の値上がり傾向を背景として樹脂値上げの声が聞こえてくる。

窯業・土石製品

●出荷状況(24工場)

- 30年1月 2,257㎡ (前年同月比12.01%減少)
- 29年12月 3,182㎡
- 29年1月 2,565㎡

鉄鋼・金属製品 (鉄鋼業)

●原材料、燃料(重油、コークス等)が高騰しているが、製品価格への転嫁も難しい。給与等の待遇が良くないと求人しても人が集まらないため、厳しい状況が続いている。

一般機器(一般機械器具)

●広島県西部地区においては、航空機の後部パネルの組立、製鉄機械及びタービン・コンプレッサーは前月同様定時間操業で推移している。
●自動車関連の好況を受け、前年同月比64.0%増加、前月比77.0%増加となった。

電気機器(電気機械器具)

●今月の売上は、前年同月比0.5%減少、前月比3.3%増加となった。国内売上が前月比5.5%増加と全体の売上増加に貢献した。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。大手企業は下請企業へ価格転嫁ができるが、多くの下請中小企業は転嫁が難しい。大企業も中小企業も同様の法律を適用されると、中小企業にとっては対応が難しい場合も多い。

輸送用機器(輸送用機械器具(自動車))

●組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の下記業況に比例している。

- ・マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持
- ・1月の国内自動車販売台数は全需が400千台、前年同月比0.5%減少と4ヶ月連続の前年割れ。登録車も前年比5.7%減少と4ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は8.7%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は4.5%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダ車の12月の海外販売合計台数は126千台、前年同月比0.3%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの12月の輸出動向については、輸出台数は前年比5.2%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの12月の国内生産台数は、前年同月比8.3%増加と2ヶ月振りの前年超え

輸送用機器(輸送用機械器具(造船))

●県内2,500総トン以上の平成30年1月の船舶建造許可実績は3隻236,100総トン(前月3隻184,750総トン、前年同月1隻6,600総トン)であった。なお、全てが輸出船で、このうち貨物船が1隻、油槽船が2隻となっている。

●中小造船業については、前月から大きな変化はない。

輸送用機器(輸送用機械器具(造船関連団地))

●先行き不透明感が漂っている。

その他(家具・装備品)

●円安により資材価格が高騰している。

非製造業

卸売業(総合)

●中小卸売業者は大規模店舗の出店や販売先小売店の閉店等の他、大手卸売業者の寡占化等により、厳しい状況が続いている。

「資材関連」においては、公共工事は件数・請負金額共に増加傾向。受注状況は好転しているが、人手不足が深刻化している。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦、前年割れが続いている中、特に1月は厳冬で客足が悪く消費が低迷している。

「繊維」においては、厳冬の影響で婦人肌着は好調、販売店は品薄になっている。

卸売業(食料)

●1月は稼働日数も少なく、例年売上が減少する。2月は例年売上が上がってくるため、今後に期待している。

卸売業(電設資材)

●広島県の11月の着工状況は、前年同月比137%、内訳としては持家が8%増加、分譲7.7%減少、貸家27.1%増加となった。

官公庁物件はあまり良くないが、民間非住宅設備工事(ホテル、賃貸ビル、テナント店舗等)の動きがよく、今後に期待が持てる。

卸売業(雪・敷物)

●例年1月の売上は低調であるが、今年は主要仕向け地の積雪が多く、輸送も手間取ることから受注が少なかった。相場は横ばいで推移している。

小売業(各種商品小売業)

●昨夏は関東・東北が冷夏で、また夏から冬への切り替わりが早く(秋が極端に短く)冬も非常に寒い日々が続いている。このことから、主力商品である青果物の生育に大きな影響が出ており青果物相場は高値安定で推移している。よって、売上は増加するが収益に結びついていない

状況が続いている。

●正月は前年並みのペースだったが、中旬以降の降雪により、客数が減少した。

小売業(家庭用電気機械器具小売)

●1月度の販売実績は前年同月比7.9%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比18.3%減少、冷蔵庫同10.5%減少、洗濯機同2.8%減少、IHクッキングヒーター同2.3%減少、エアコン同3.1%減少となった。

その他の小売業(燃料)

●1月前半は仕入価格が上昇し、その後も高値で推移している。

石油製品の価格高騰による買い控えの心配からか、仕入価格の上昇分を小売り価格に転嫁しきれないように感じる。

商店街(各種商品小売業)

●昨年10月末で閉店していた会員小売店が、破産手続開始に伴い脱退した。

3月に当商店街を中心に「第1回まちゼミ」を開催することとなり、20店舗で30講座を開催する予定である。

サービス業(自動車整備業)

●車検台数は前月比10.9%減少、前年同月比7.4%減少。車検場収入は前月比11.2%減少、前年同月比7.9%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比3.2%減少、前年比12.9%減少となっている。

サービス業(広告業)

●石内の大型ショッピングモールのオープンに伴い、若干ではあるが仕事量の増加が予想される。

建設業(工事業)

●各自治体の発注工事は年度末を控え、年度内工期などの要因から減少傾向にあり、今後小規模工事主体の案件が増加するものと思われる。

公共工事の発注は年度予算の関係で短い工期の工事や維持管理メンテナンスを中心とした案件が多く、年度をまたいだ主力工事が少ないため、中小企業各社は民間需要の案件にシフトしていると見られる。

●今月の工事受注件数は、前月比49.0%減少、前年同月比67.3%減少となった。太陽光発電設置申請が1月は12件と少なかった。また固定価格買取制度(FIT)改定が12月までであったため、その反動により工事受注件数が激減した。

●大型物件が一段落してきているため、最盛期である2月、3月の見通しが立ちづらい状況である。

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目について、今月は前月比80%増加、前年同月比15%増加と好調であった。石内東地区の大型商業施設、広島駅北口のオフィスビル等が好況の要因である。しかし、年度前半の不振が影響し、前年累計比では15%減少となった。

運輸業(道路貨物運送業)

●1月の荷動きは、前月の反動減が懸念されたが、稼働日数が減少しているにもかかわらず前年より活発に動いたようである。

燃料価格は4ヶ月連続で上昇しており、収益悪化が懸念される。

●運賃は上昇傾向にあり、売上は増加している。

前年同月比では、燃料価格が大幅に上昇しており、収益状況は悪化している。

●1月の貨物輸送量は、正月休みの関係で前月比減少、前年比では変化なしとなった。

突発的な輸送要請があっても、車両はあるが運転手不足により要請に応えることができない状況が続いている。

建設関係、土木関係の輸送は年度末を控え好調である。

一番の不安材料は軽油価格の上昇で、既に収益を圧迫している。今後の予想では、2018年も高値が続く可能性が高い上に、さらに単価が上昇するのではないかとされており、先行きを心配している。

運輸業(水運業)

●船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他(不動産業)

●1月に公的評価(地価公示、相続税評価)があり一般評価をあまり行っていなかったため、売上高等は前月比減少となった。

前年同月比は前月同様、固定資産評価報酬の入金状況により収益・資金繰りが悪化している。

年度末は一般評価作業の増加が見込まれている。

地価は依然として上昇傾向にあるが、取引はやや減少傾向にある。



平成29年度補正「ものづくり・商業・サービス 経営力向上支援補助金」公募のお知らせ

平成29年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の公募を以下の通り行います。
なお、公募要領及び応募書類、申請における留意点等については、[広島県中央会HP](#)をご確認ください。

(1) 事業概要

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。

(2) 対象要件

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、下記の要件のいずれかに取り組むものであること。

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的サービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、3～5年で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

(3) 事業の詳細

①企業間データ活用型：複数の中小企業・小規模事業者が、事業者間でデータ・情報を共有し、連携体全体として新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクトを支援。

【補助上限額：1,000万円/者(※)、補助率：2/3】

※連携体は10者まで。さらに200万円×連携体参加数を上限額に連携体内で配分可能

②一般型：中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援。

【補助上限額：1,000万円、補助率：1/2(※)】

※生産性向上特別措置法(案)(平成30年通常国会提出)に基づく先端設備等導入計画の認定又は経営革新計画の承認を取得して一定の要件を満たす者は、補助率2/3

③小規模型：小規模な額で中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援。(設備投資を伴わない試作開発等も支援)

【補助上限額：500万円、補助率：小規模事業者2/3、その他1/2】

【①～③共通】生産性向上に資する専門家を活用する場合

【補助上限額30万円アップ】

(4) お問い合わせ

〔広島県地域事務局：広島〕(TEL)082-222-8338

〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル8F

〔広島県地域事務局：福山〕(TEL)084-959-2360

〒720-0067 福山市西町2丁目7-1 福山商工会議所ビル9F

※応募申請は広島県地域事務局(広島)へ申請書類をご郵送いただくか、中小企業庁が開設した支援ポータルサイト「ミラサポ」による電子申請(平成30年4月中旬開始予定)にてお願いいたします。



広島県中央会 ものづくり補助金

検索



組合年度末事務処理について

組合は事業年度終了後、中小企業等協同組合法に基づき、認可行政庁並びに組合事務所を所管する法務局等に下記の事項について届出や申請等の義務が生ずることになります。

また各様式については、当会HPへ掲載しておりますのでダウンロードしてご利用ください。
 その他手続き等の詳細についてもお気軽に当会までお問い合わせください。

組合年度末事務処理フローチャート(3月末決算、5月30日通常総会開催の場合。日付は参考。)

短縮可能



- 2日 ●中小企業組合士会 第3回理事会 (中央会会議室)
- 5日 ●組合情報化支援講習会 (センチュリー21広島)
- 8日 ●瀬戸内フードコミュニティ 中小企業組合等活路開拓事業第4回委員会 (広島魚市場(株))
- 9日 ●管理者等講習会(健康経営セミナー) ((協)ベイタウン尾道)
- 14日 ●IoT導入研究会(第2回) (広島商工会議所ビル)
- 15日 ●組合青年部県大会 (センチュリー21広島)
- 16日 ●広島県事務局代表者協議会 平成29年通常総会 (センチュリー21広島)
- 18日 ●広島県柔道整復師(協) 組合特定問題研修会 (広島県柔道整復師会館)
- 22日 ●平成29年度ものづくり企業熱処理活用研究会 (光陽産業(株))
- 22日 ●三原市清掃事業(協) 組合特定問題研修会 (三原市福祉会館)
- 25日 ●福山青果商業(協) 組合特定問題研修会 ((一社)福山労働会館みやび)
- 26~27日 ●平成29年度女性職員研修会フォローアップ (セラトングランドホテル広島、びあっと志万多)
- 27日 ●IoT導入研究会(第3回) (広島商工会議所ビル)

※太字になっているものが、広島県中央会の事業・行事になります。

編集後記

寒さの厳しかった冬も終わりを告げて、春がやってきました。

春といえば、毎年、桜の花見を楽しもうと決心しますが、ここ数年は公私ともに忙しく、また、企画をしても桜雨に流されるなど、機を逸することが多かったように思います。時には、身体と心を休めるのも重要なこと、とわかってはいるけども、思いのほか先送りにしてしまうので、今年こそは、開花予想も意識しながら、計画的に桜の花見を楽しんでいければと思います。

(藤原)

表紙のことば



うずみ(福山市)

「質素」から「楽しみ」へ。
進化する福山の「うずみ」

江戸時代の儉約政治により、贅沢品とされた具材をご飯でうずめて(隠して)食べたのが始まりといわれる「うずみ」。一見何の変哲もないご飯ですが、その下からはエビや松茸、里芋などの旬の具材が、だし汁とともに現れてきます。現在では和・洋・中そしてスイーツまで生まれており、食材を見つけ出す楽しい料理として新たな広がりを見せています。



メルマガ会員募集中

当会のメルマガにご登録いただいた方には、講習会・セミナーの案内や補助金等の中小企業施策の「最新情報」を定期的にお届け致します。組合・企業の運営に係るお役立ち情報をお届け致しますので、是非ご登録ください!!

ご登録はこちらのアドレスへご一報下さい。

E-mail: chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部

ポリテクセンター広島

(広島職業能力開発促進センター)



ハートトレーニング
— 産官学連携 —

**人材確保に
ご検討ください!**

ポリテクセンター広島では

離職者の方々を対象として、新たな職業に必要な専門的知識や技能を身につけていただくための公共職業訓練（ハートトレーニング）を実施しており、この訓練を受けた受講生の無料職業紹介を行っています。採用のご予定がありましたら、ぜひ、ポリテクセンター広島の訓練生の採用をご検討ください。

①主な訓練コース（6ヵ月）

企業ニーズに基づく多様化する職務に対応した“ものづくり分野”の技能・技術が習得できるよう3ヵ月ごとの訓練目標を設定し、習得度を確認しながら段階的に職務に結びつく技能・知識及び応用性を加味した技術・知識を学びます。

CAD/CAM 科



電気制御・CAD 技術科

機械加工技術科



住環境計画科

金属加工科



住宅リフォーム技術科

電気・通信施工技術科



ビル管理技術科

ICT 生産サポート科



平成28年度
就職率実績
86.7%

②導入訓練（橋渡し訓練・7ヵ月）

コミュニケーション能力やビジネスマナーなどを習得する導入訓練（1ヵ月）と、続く6ヵ月の職業訓練を組み合わせた訓練コースです。

③企業実習付きコース（日本版デュアルシステム・7ヵ月）

再就職を目指す若年者（45歳未満）を対象として、当センターでの訓練（6ヵ月）と企業での実習（1ヵ月）を組み合わせた訓練コースです。企業実習による訓練を実施していただける企業を探しております。

★こんなメリットがあります！

- 就職意欲を持った若い人材が確保でき、自社が求める**即戦力**を育成できます。
- 職場実習を指導する社員の方の成長が期待でき、**企業内の人材育成**につながります。



④求職者情報

ポリテクセンター広島では、就職支援の一環として、訓練受講生の情報を案内しています。詳しくは で をご覧ください。



【お問い合わせ先】

ポリテクセンター広島（広島職業能力開発促進センター）
〒730-0825 広島市中区光南 5-2-65
訓練課 離職者訓練担当（訓練全般、企業実習について）
TEL 082-245-0230 FAX 082-245-3926
就職情報室（訓練生、修了生の採用について）
TEL 082-245-0234 FAX 082-243-8150



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、
一般扱(口座振替月払等)で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクを
カバーする保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社

業務災害補償保険 取扱代理店
三井生命保険株式会社



* 団体扱とは、広島県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込み
いただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い
込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記まで
お問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあ
たっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起
情報)」「ご契約のしおりー約款」および広島県中小企業団体中央会
の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取
扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。



お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社

広島支社 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町 1-23 三井生命広島駅前ビル 3F TEL:082-262-0250

福山支社 〒720-0043 広島県福山市船町 7-25 ケイエースビル 7F TEL:084-928-3388

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>